管理可能な支出　　年　　月　　日

- 管理可能な資源（運転資金）が何に支出され、何に投資されるかが大きな差を生む。参照④業績をもたらす領域
- 目標の達成に関しては、目先すなわち2，3年先と、その先の将来すなわち5年先以上との間のバランスを考える必要がある。このバランスは管理可能な支出についての予算によって実現される。

- 管理可能な支出とは、過去の投資から派生する費用を除き、人件費や原材料費のように現在の事業から余儀なくされている支出以外の支出すべてである。
- 管理可能な支出とは、今日のマネジメントが決定する支出である。全廃は無理としても大幅に削減することができる。その影響は、しばらくの間、おそらくはかなり長い間現れない。
- 管理可能な支出を削減するならば当面の業績は目に見えてよくなる。増額するならば、当面の業績は目に見えて悪くなる。しかし、その結果は明日の利益となって現れる。管理可能な支出については長期的な視点が必要である。支出の急激な減額は、長年築いてきたものを一日で壊す。
- 運転資金は管理可能な資源であり、その使い方を比較的短期間に動かせる。
  その転用の容易性のゆえに、状況からの圧力や緊急事態の影響を受けやすい。
- 設備投資は、ひとたび投資の決定を行ったあとでは動かしにくい資源となる。
- **管理可能な支出に関する限り、今日は一片のパン、明日はゼロよりも、毎日半切れの方が良い。**

下記の（A）～（G）の管理可能な支出をどのように支出するか？ ①.「近い将来の成果のために遠い将来についていかなるリスクを冒すか？」 ②.「遠い将来の成果のために近い将来についていかなる犠牲を払うか？」			前期	業績が悪化したとき減額すべき支出か？	不況時においても継続すべき支出か？	好況時においても避けるべき支出か？
A）マネジメント関係人件費、経営管理者育成費			¥	¥	¥	¥
			¥			
			¥			
			¥			
B）人事管理費、教育訓練費、福利厚生費			¥	¥	¥	¥
			¥			
			¥			
			¥			
			¥			
			¥			
C）研究費、製品開発費、設計費			¥	¥	¥	¥
			¥			
			¥			
			¥			
			¥			
			¥			
D）アフターサービス費			¥	¥	¥	¥
			¥			
			¥			
			¥			
E）販売組織関係費、販売促進費、宣伝費			¥	¥	¥	¥
			¥			
			¥			
			¥			
			¥			
			¥			
			¥			
			¥			
			¥			
			¥			
			¥			
F）減価償却費			¥	¥	¥	¥
			¥			
			¥			
			¥			
G）設備管理費、設備更新費、設備拡張費			¥	¥	¥	¥
			¥			
			¥			
			¥			
			¥			
			¥			
合計			¥	¥		